

Title	デザイン理論 43号 投稿規程/執筆要領/編集後記/ 奥付
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2003, 43, p. 92-93
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53206
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

「デザイン理論」投稿規程

1. 内 容:デザインに関する未発表の論 文,研究報告等。

2. 投稿資格:本会会員

3. 採 択:採否及び掲載号については編集委員会が決党する。

集委員会が決定する。

4. 査 読:学術論文については,編集委員会が査読者2名に依頼する。 査読結果は編集委員会が本人 に通知する。結果は,(A)無条

件採用,(B)条件採用,(C)不採用とする。

査読期間は2ヶ月程度とする。

5. 執筆要領:別に定める。

昭和37年11月11日改正,昭和60年11月8日改正,平成2年11月10日改正,平成6年7月9日改正,平成14年11月9日改正,平成14年11月9日改正

6. 提出期限:基本的には随時。ただし,学 術論文は,査読のため,5月 春号掲載希望は,1月15日, 11月秋号掲載希望は,6月30 日を〆切りとする。 学術論文以外は,これは投稿 予告の期限で,実際の投稿期 限は,それぞれ3月31日,8 月31日となります。

7. 提出 先:意匠学会編集委員会 なお,以上の規程は,平成14 年11月9日より発効する。

「デザイン理論」執筆要領

平成6年6月4日 編集委員会決定

1. 原 稿:

原稿は400字詰め横書原稿用紙に横書き とする。

ワープロで作成する場合は、A 4 大の紙に1行40字、1頁30行程度で作成すること。 査読論文の場合は最終原稿とともに、また、研究報告等は原稿提出時に、フロッピー (機種、ソフト等を明記)も提出すること。 いずれの場合も、提出に際しては、コピーをとって手元に保存すること。

また、所定の割付用紙に割り付けを行なって、原稿とともに提出すること。割付用紙は必要に応じて各自コピーすること。

2. 原稿の分量:

分量は学術論文と研究報告はともに、図版、図表、注などすべてを含めて、刷上りで、14頁以内とする。(400字詰原稿用紙では約45枚である)。紙上発表は8頁以内、発表レジメは2頁とする。

3. 原稿の構成:

原稿には、表紙、本文、注、および学術 論文と研究報告には欧文(原則として英文) 要約、キーワード、目次を付すこと。

表紙には、表題、著者名(ふりがな付き)、 所属機関名を和文と欧文(原則として英文) で書くこと。

欧文要約は、刷上り1頁とする。語数は約200語。必ず、タイプライターまたはワープロで作成すること。また、できる限り、 当該言語を母国語とする人の校閲をえておくこと。

キーワード(和文および英文)は、それ ぞれ 5 語以内とする。

4. 図・表のレイアウトなど:

図版はモノクロームとし、位置の指定、 大きさ、レイアウト、必要なトリミングな どはすべて執筆者が行なうこと。レイアウ トなどには学会指定の割付用紙で行なうこ

図版などの著作権の問題があると思われる場合は、執筆者自身が事前に許可をとっておくこと。当学会は著作権についての責任は負わない。

編集後記

今年の夏は、イギリスに行くことができました。教区教会の調査に同行する形でしたが、田舎道のドライブを存分に楽しみました。有料道路がなく、交差点に信号がほとんどなく、ラウンドアバウト(ロータリー交差点)も最初は戸惑いましたが、結構楽しく、合理的だと感心しました。

ぜひ見たいと思っていたデザイン・ミュー ジアムには、納得する面と失望を感じました。 旅行案内書などには、「日用品のデザインの 変遷をビジュアルに展示」と案内してあるの ですが、ロンドンで活躍している日本人のデ ザイナーに聞いたところでは、最近では、展 示方針が変更されてきているようです。歴史 的な変遷より、現役のデザイナーの仕事を紹 介する展示に力点が移ってきているようです。 今回訪れた時も,常設展示のスペースより, グラフィクデザイナーとプロダクトデザイナー の回顧展に大きなスペースが与えられていま した。デザインの展覧会を企画するキュレー ターも育っているとのことで, 企画展に重点 が移るのも当然かという気もしましたが、常 設の歴史的展示の充実も期待したいところで す。この点では、ヴィクトリア・アンド・ア ルバート博物館に、家具を中心にした20世紀 のコレクションが結構充実していました。

デザイン・ミュージアムは、未だ課題の一つで、日本での充実に学会が取り組めないか、考える必要がありそうです。デザイン研究の方は期待できそうです。秋季号も十分な論文が集まりました。今後は、投稿論文が多すぎて、次号送りという事態も予測されます。ただ、書評や展覧会評などの投稿が少なく、この点の充実を、会員の皆様にお願いしたいと思います。 (文責:渡辺 眞)

編集委員

 足立裕司
 太田喬夫
 櫛 勝彦

 榊原吉郎
 佐藤敬二
 並木誠士

 橋本英治
 藤田治彦
 藪
 享

 横川公子
 渡辺
 眞(委員長)

デザイン理論 43号

Journal of the Japan Society of Design, 43/2003

発行日 2003年11月15日 発行 意匠学会 事務局 〒606-8585 京都市左京区松ケ崎御所海道町 京都工芸繊維大学工芸学部造形工学科意匠学教室内 TEL 075-724-7603 FAX 075-724-7629 発行者

意匠学会 編集委員会 事務局 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6 京都市立芸術大学美術学部第3研究室群合同研究室内 TEL/FAX 075-334-2255 編集責任者 渡辺 眞

印刷所 (株)北斗プリント社